

たましま協同病院だより

玉島協同病院

倉敷市玉島柏島5209-1

電話(086) 523-1234

http://www.tamakyo.com/

発行責任者 青木弘人

【病院理念】玉島とその周辺の地域で暮らす人々が、疾病・障害のあるなしにかかわらず、その人らしく輝いて暮らせ、安心して一生を終えることを支援する医療機関でありたいと願います

異動のご挨拶

2018年夏から2023年春まで、内ほぼ1年間は産休育休だったので、実質4年弱の間、本当にお世話になりました。今回の産休に入る前は「春に戻ってきます」とご挨拶していたもので、突然の異動に驚かれた方も多いと思います。私自身も驚いています。4月から、水島南診療所にて外来・訪問診療に携わせていただくこととなりました。

私は船穂の西の端に生まれ育ち、母の出身が乙島ということもあり、玉島は縁深い地域でした。幼い頃に海水浴へ来た沙美や、歩いた商店街、遊んだ公園など、変わらぬ風景に日々癒されていました。

この4年間、玉島協同病院で沢山のひとと出会う中で、玉島は地域の方向士の結び付きが強く、地域への愛着や誇りを持っている方が多いと感じました。医療という限られた視点からではありますが、玉島で暮らす方々の生活に関わらせて頂き、幸せでした。本当にありがとうございました。



ご縁がありましたら、また玉島でお世話になることもあるかもしれません。その時まで引き続き精進して参りますので、どうかよろしくお願い致します。

(中田 芙美恵)

一人ひとりに合ったリハビリを

2月15日、院内の学術運動交流集会が開かれ、各部署の代表者が発表を行いました。

玉島協同病院通所リハビリに来て約1年が経ちました。今回、学術運動交流集会で通所リハビリでの取り組みについての発表を行いました。前の職場では入院・入所からの在宅復帰を支援させてもらっていましたが、通所リハビリでは在宅復帰後の生活の支援をさせてもらっています。

通所リハビリは本人・家族とコミュニケーション、生活環境などリアル

組まれていて、今回経験させていただいたこと

と今までの経験を活かし、今後もその人にあったリハビリを提供できるように努めていきます。

(通所リハビリテーション 辻 伸也)



発表の様子

福島第一原発事故から11年の今

昨年12月に全日本民医連の研修の一環として、福島を訪れる機会をいただいたので紹介します。

フェイールドワークで原発立地地区へ行き、第一原発から約4キロ付近をバスで通りましたが、車内では線量測定機のアラームが断続的に鳴り響いていました。周辺の民家は帰還が許可されていても、誰も住んでおらず、見かけるのは除染作業員ばかりでした。楢葉町にある宝鏡寺の伝言館には原発による極めて深刻な事故について展示されています。館長



原発悔恨・伝言の碑

の早川篤雄和尚と副館長の安斎育郎立命館大学名誉教授は1973年から福島の原発に対する反対運動を取り組まれていますが、表に建つ「原発悔恨・伝言の碑」にはお二人の思いが刻まれています。

ど見聞きしました。福島県が建てた「東日本大震災・原子力災害伝承館」は立地場所が津波被害を受けた場所



浪江町請戸小学校

このように、事故から間もなく12年になろうとしています。復興は道半ばであり、風化させてはならないと強く感じました。福島の実相を伝えることと、被災者に寄り添い続けることが大切だと思います。今年も院内では「福島の今」の写真展を1階南側にて掲示予定です。来院時など、ぜひご覧ください。

(事務長 青木 弘人)



卒業証書授与式の看板が掛かったままの体育館

玉島協同病院は今後も部屋代はいただきません

玉島協同病院は24時間急患対応をしています

加集万里子の お料理教室

シリーズ
171



甘辛だれの大根餅



おやつに、おつまみに、お弁当の一品にもなる大根餅。すりおろすのが大変だったら、千切りでもできます。

材 料 (大根15cm位で)

- ♥大根15cm
 - ♥片栗粉大さじ3
 - ♥小麦粉大さじ3
 - ♥ゴマ油かサラダ油(焼き用)大さじ1~2
 - ♥海苔好きな量
- 甘辛だれ
 - ♥しょうゆ
 - ♥さとう
 - ♥みりん
 - ♥水
- ...各大さじ2

作り方

- 皮をむいた大根をすりおろし、軽く水気をきる(その汁にはちみつを加えて飲んで喉に良いそう)。
- おろした大根に片栗粉、小麦粉を加えよく混ぜる。別の容器に甘辛だれの調味料も混ぜ合わせておく。
- フライパンに油を熱し、ピンポン玉位の大きさに丸めた大根餅を平たくして5cmの丸型に焼いていく(やわらかすぎたら、粉類を少々足すと良い)。うすく焼き色がついたらひっくり返し、蓋をする。
- 両面焼けたら、甘辛だれを加え、フライパンを動かして照りを出す。切った海苔を巻いたら出来上がり。

マヨネーズをつけると、おやつになります。甘辛だれは、少し多めにあるほうが美味しいです。

医療費負担の増加 患者さんの声

2022年10月から75歳以上の医療費窓口負担が2割化となりました。当院では、全日本民医連からの呼びかけもあり、1割から2割となった患者さんを対象に、負担がどう変わったかアンケートを実施。郵送でアンケートを送付したところ、切実な声が多数寄せられました。

「医療費が2割になってからの負担感」を尋ねたところ、8割以上の方が「とても重い」「重い」と回答。現在は緩和措置があり(2025年9月末まで)、外来窓口の負担増額を月3,000円までに抑えられています。今後緩和措置が終了し、完全2割負担になった場合を想定した質問には、「受診できなくなるかもしれない」「受診回数・薬を減らすと思う」との回答が多数ありました。措置終了後の打撃は必至です。今回の回答結果の背景には単純に医療費負担が増した苦しさだけでなく、長引くコロナ禍、物価高騰、年金削減など高齢者の暮らしが二重、三重にも苦しい中での負担見直しだった影響が大きいと考えられます。「ごく僅かなオーバーで2割になってしまった。このままでは将来が不安。軍事費は不要だが、医療は年齢問わず必要。政治家はもっと考えて欲しい」等意見が寄せられています。

受診控えにより、救えるはずの命が救えなかったということが起きてはなりません。今後も生の声を集めながら、誰もが安心して医療にかかることができるよう、受療権を守る取り組みを行っていきたいと思います。

(社保平和委員会)



医療費に関することや生活に関すること等、
ご不安なことがあれば些細なことでも
お気軽にご相談ください

看護補助者
介護職員

募集



資格不要! お気軽にお問い合わせください!

お問い合わせ先 TEL: 086-523-1234 担当/池田

玉島協同病院はカルテを開示しています

シリーズ職場紹介⑫「事務課」

安心安全な医療をお届けする窓口

事務課は、主に受付や会計、入院院の手続きなどの接客業務から医療費の請求に係る保険請求業務のほか、総務・経理・健診受付・電話交換など病院事務に関する業務を幅広く担当しています。

電話や来院される方が病院で最初に接する職員が事務課の職員です。患者さん・利用者さんをはじめ当院をご利用されるすべての方が安心してご利用いただけるよう、丁寧で気持ちの良い対応を心掛けています。お気軽にお声がけください。

国は医療機関に対して2023年4月からマイナンバーカードを健康保険証として利用できるシステムの導入を義務化しました。当院でも2月からマイナンバーカードを利用した保険証の確認ができるよう、マイナンバーカードを読み取る機器を設置して運用を開始しました。ご利用の際、何かお困りのことがございましたら遠慮なくお申し付けください。(事務課長 赤澤 尚樹)



マイナ受付

カードリーダーにマイナンバーカードを置いてください

顔写真を表にして縦向きに置き、つきあたりまで押し当ててください

カバー等は外してください

マイナンバーカードを置いた後は 画面の指示に従って操作してください

受付完了後はマイナンバーカードを忘れずにお取りください!

受診の際は、マイナンバーカードを。

あなたのマイナンバーカードをお持ちいただければ、同意することで、健診情報や処方された薬の情報などを見られるので、医師もその情報に基づいた診療が行えます。



当院の正面玄関横に設置しております